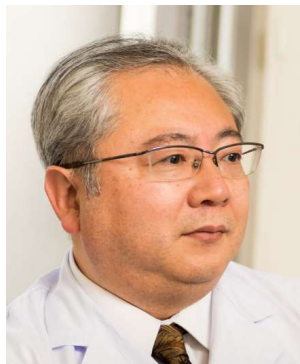


# 前立腺癌治療におけるアーチファクトレス病巣識別 ガイダンスマーカの開発

## ① 共同研究・産学連携への意気込み



病院教授  
沖原 宏治

教授  
浮村 理

癌病巣標的治療・監視療法・外照射治療に対して、精緻性を伴う治療手技・治療後の正確な病巣診断を目的とし、MRI・超音波・CT画像において、アーチファクトを最小化した穿刺針一体型ガイダンスマーカを開発しました。現在、非臨床試験を実施しています。今後、医師主導治験の計画を立案します。

## ② 想定される連携先・移転先

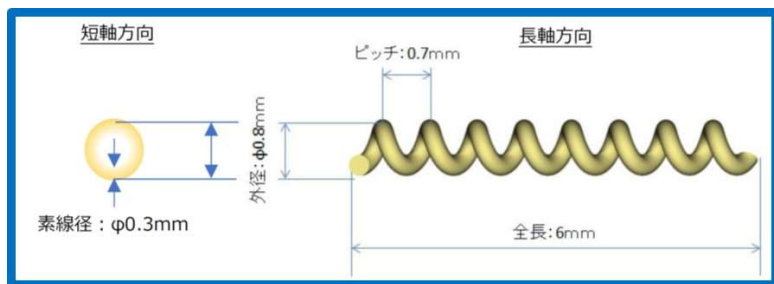
上記マーカ開発に協力してきた、3企業の連携継続に加え、海外も視野にいたした、臨床への実用化を目的としております。**実用化開発計画・治験ならびに販路戦略企画に携わる新たな企業提携をめざします。**

## キーワード

前立腺癌、放射線治療、監視療法、病巣標的化局所治療、病巣識別ガイダンスマーカ

## 研究内容

1) 各種画像診断に「アーチファクトレス」をめざしたマーカ (Au-Pt) ・穿刺針の開発完了



国内特許：(特願2019-128620)  
国際特許：PCT/JP2020/023063

2) 動物 (イヌ) を用いた上市マーカとの比較実験で開発マーカの優位性・安全性を実証  
→ 各種前立腺癌治療の臨床応用に関して、今後の必要な非臨床試験・臨床試験要否の明確化を目的とし、**医療機器戦略相談施行** (R2. 9.16 機戦 P196)  
→ 第一段階として必要な非臨床試験計画を確立しました。

### 3) 今後の研究計画

監視療法・癌病巣標的治療を目的とした、動物慢性実験、および、癌患者の摘出前立腺を用いたマーカ留置後の画像試験を実施します (橋渡し研究推進プログラムに本研究計画申請)。